

「説明碑作り直す」

ハンゲルを「東海」表記に

琴浦町発表



碑文の修正について説明する田中町長(中央)＝20日、琴浦町役場

琴浦町が日韓友好交流公園「風の丘」(同町別所)の説明碑から、「東海」の表現を削除した問題で同町は二十日、説明碑文について日本語では「日本海」とし、ハンゲルでは「東海(トンヘ)」と表記したものに作り直すと発表した。六月定例町議会での審議を経て、七月上旬にも修正に着手したい考えだ。

同町役場(同町徳方)で会見した田中雄雄町長は、「読む人にとって理解しやすい文面が一番良いと考え、日本語では『日本海』、ハンゲルでは『東海』とすることに

した」と説明した。説明碑は、文面が浮き彫りしてあるステンレス製の部分を作り直すのが、「光が反射して読みにくい」との指摘があることから、見やすい素材にすることも検討。費用は二十万円強になる見通しだという。

今回の問題について田中町長は、「大きな問題となったことについては、軽率のそしりを免れず、反省しなければならぬ」と沈痛な面持ちで語った。

町は十九日、修正案について町議会全員協議会で議員に説明した後、民団鳥取県地方本部に提示。十九、二十の両日にかけて町国際交流協会や町内の民団関係者、区長会でも説明し、町民の理解を求めた。

田中町長によると、同本部の薛幸夫(ソル・ヘンブ)団長は町の修正案に対し、「原状回復を求めており納得できない。しかし、町が町民の意思を尊重して取り組むことについては、民団が口を出すべきではないと考えている」と述べたという。

を能を 位泳人た陸在後健障身体